



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 福留ハム株式会社

コード番号 2291 URL <http://www.fukutome.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 中島 修治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理支援部長

(氏名) 明石 嘉典

TEL 082-278-6161

四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|------|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期第1四半期 | 6,906 | △0.7 | 10 | △58.7 | △10 | — | △28 | — |
| 26年3月期第1四半期 | 6,957 | 1.2 | 24 | 242.0 | 46 | 93.7 | 17 | — |

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 103百万円 (311.9%) 26年3月期第1四半期 33百万円 (—%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円銭 | 円銭 |
| 27年3月期第1四半期 | △1.71 | — |
| 26年3月期第1四半期 | 1.03 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|-------------|--------|---|-------|---|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期第1四半期 | 17,207 | — | 5,347 | — | 31.1 | — |
| 26年3月期 | 16,820 | — | 5,081 | — | 30.2 | — |

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 5,347百万円 26年3月期 5,080百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 | 円銭 |
| 26年3月期 | — | 0.00 | — | 3.00 | 3.00 |
| 27年3月期 | — | — | — | — | — |
| 27年3月期(予想) | — | 0.00 | — | 3.00 | 3.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|--------|-----|------|------|------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円銭 |
| 第2四半期(累計) | 14,100 | 0.3 | 130 | 42.3 | 140 | 25.6 | 50 | 15.4 | 2.94 |
| 通期 | 28,300 | 0.0 | 330 | 8.2 | 350 | 8.1 | 140 | 2.6 | 8.24 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

| | | | | |
|---------------------|----------|--------------|----------|--------------|
| ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 27年3月期1Q | 17,000,000 株 | 26年3月期 | 17,000,000 株 |
| ② 期末自己株式数 | 27年3月期1Q | 304,052 株 | 26年3月期 | 304,052 株 |
| ③ 期中平均株式数(四半期累計) | 27年3月期1Q | 16,695,948 株 | 26年3月期1Q | 16,700,886 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビューの手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的で判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 3 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 3 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 7 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (セグメント情報等) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成26年4月1日～6月30日）におけるわが国経済は、政府による金融緩和に伴う株高や円安が継続するなか、企業収益の改善や個人消費の持ち直しへの期待感が高まっているものの、厳しい雇用情勢や消費税増税による景気減速への懸念や、世界経済の減速、新興国の成長鈍化など、先行きに対して不透明感が残る状況が継続しております。

当業界におきましては、主原料、包装資材及び燃料の高騰による製造コスト等の上昇や消費者の節約志向や市場競争激化により、依然として厳しい環境で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、「お客様第一にあふれる味覚をお届けします」をモットーに「安心・安全・美味しさ」を追求し、経営理念のさらなる浸透を図るとともに、コンプライアンスを重視した社員教育を実施いたしました。また、製造コスト等の上昇が当社の経営を強く圧迫する要因となっている状況のなか、作業効率の改善や仕入の見直しを重視し、コスト削減に努めてまいりました。また、当社は創業95周年を迎え、6月には「95周年感謝の集い」を開催し、研究開発センターにお得意先様、お取引先様をお招きし、「広島港町手造りハム工房」の取り組みを紹介し、新たな需要創造の第一歩をスタートいたしました。さらに、2014食肉産業展の全国銘柄食肉コンテストにおいて、当社出品の「広島もち豚」が最優秀賞を受賞いたしました。

販売に関しましては、当社の登録商標である「ロマンティック街道」シリーズ、“ザ・広島ブランド（味わいの一品）”に認定されているロングセラー商品の「サクラ咲く花ソーセージ」、今年2月発売の「銀の食卓」シリーズ、並びに「くまモン」をパッケージに使用した商品などを中心に販売強化を図ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、69億6百万円（前年同四半期比0.7%減）となりました。利益につきましては、営業利益は10百万円（前年同四半期比58.7%減）、経常損失は10百万円（前年同四半期は経常利益46百万円）、四半期純損失は28百万円（前年同四半期は四半期純利益17百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

加工食品事業

加工食品事業につきましては、主原料、包装資材及び燃料の高騰による製造コストの上昇及び消費者の節約志向や市場競争激化に伴う販売価格の下落等などの状況のなか、「くまモン」をパッケージに使用したウインナーは好調に推移しましたが、全体の落ち込みをカバーするまでにはいたりませんでした。

その結果、売上高は31億95百万円（前年同四半期比2.0%減）、セグメント利益（営業利益）は1億4百万円（前年同四半期比10.3%減）となりました。

食肉事業

食肉事業につきましては、適正価格の確保に努め、国産豚肉におきまして、出荷頭数の減少に加え、輸入豚肉の代替需要の増加から相場が上昇したため、売上高は微増となりました。一方、国産牛肉におきましては、消費低迷から回復基調となりましたが、出荷頭数の減少に伴い、売上高は微減で推移いたしました。輸入ミートにおきましては、円安と現地価格の上昇や輸入量の減少により価格は上昇し、売上高は微増で推移いたしました。

その結果、売上高は37億10百万円（前年同四半期比0.4%増）、セグメント利益（営業利益）は41百万円（前年同四半期比46.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億86百万円増加の172億7百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ4億63百万円増加の75億27百万円となりました。主な要因は、商品及び製品2億29百万円、原材料及び貯蔵品1億40百万円及び受取手形及び売掛金69百万円の増加によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ77百万円減少の96億79百万円となりました。主な要因は、投資有価証券1億65百万円の増加と繰延税金資産1億67百万円及び有形固定資産26百万円の減少によるものであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億20百万円増加の118億59百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ5億11百万円増加の89億11百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金4億54百万円及び未払金1億99百万円の増加と賞与引当金1億4百万円の減少によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ3億91百万円減少の29億47百万円となりました。主な要因は、長期借入金81百万円及び退職給付に係る負債3億47百万円の減少によるものであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億66百万円増加の53億47百万円となりました。主な要因は、その他有価証券評価差額金1億16百万円及び利益剰余金1億33百万円の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、平成26年5月15日に公表いたしました業績予想の変更はしていません。

今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を割引率決定の基礎となる債券の期間について従業員の平均残存勤務期間における年数を基礎に決定する方法から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が328,914千円減少し、利益剰余金が212,478千円増加しております。なお、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,005,310 | 2,970,506 |
| 受取手形及び売掛金 | 2,703,188 | 2,772,427 |
| 商品及び製品 | 774,638 | 1,004,264 |
| 仕掛品 | 41,804 | 52,988 |
| 原材料及び貯蔵品 | 424,713 | 564,733 |
| 繰延税金資産 | 90,525 | 129,338 |
| その他 | 30,724 | 39,154 |
| 貸倒引当金 | △6,615 | △5,632 |
| 流動資産合計 | 7,064,289 | 7,527,781 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 2,114,114 | 2,070,585 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 417,826 | 400,547 |
| 土地 | 3,344,656 | 3,344,656 |
| リース資産(純額) | 350,290 | 388,545 |
| その他 | 36,798 | 33,231 |
| 有形固定資産合計 | 6,263,687 | 6,237,565 |
| 無形固定資産 | | |
| 電話加入権 | 21,201 | 21,165 |
| ソフトウェア仮勘定 | 103,150 | 103,150 |
| その他 | 18,544 | 17,472 |
| 無形固定資産合計 | 142,895 | 141,787 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,075,236 | 2,240,241 |
| 出資金 | 85,507 | 42,219 |
| 敷金及び保証金 | 125,540 | 119,188 |
| 保険積立金 | 34,081 | 34,081 |
| 繰延税金資産 | 990,540 | 823,078 |
| その他 | 232,857 | 257,174 |
| 貸倒引当金 | △194,107 | △216,110 |
| 投資その他の資産合計 | 3,349,656 | 3,299,871 |
| 固定資産合計 | 9,756,238 | 9,679,224 |
| 資産合計 | 16,820,527 | 17,207,006 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 2,324,700 | 2,779,318 |
| 短期借入金 | 5,060,700 | 5,023,400 |
| 未払金 | 482,229 | 681,478 |
| 未払費用 | 87,554 | 90,838 |
| 未払法人税等 | 75,056 | 57,915 |
| 賞与引当金 | 207,781 | 103,534 |
| リース債務 | 117,538 | 121,937 |
| その他 | 44,940 | 53,329 |
| 流動負債合計 | 8,400,501 | 8,911,750 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 373,200 | 291,300 |
| 役員退職慰労引当金 | 261,815 | 266,640 |
| 退職給付に係る負債 | 2,429,336 | 2,081,599 |
| リース債務 | 238,111 | 271,834 |
| その他 | 36,538 | 36,585 |
| 固定負債合計 | 3,339,001 | 2,947,959 |
| 負債合計 | 11,739,503 | 11,859,710 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,691,370 | 2,691,370 |
| 資本剰余金 | 1,503,937 | 1,503,937 |
| 利益剰余金 | 676,416 | 810,225 |
| 自己株式 | △76,273 | △76,273 |
| 株主資本合計 | 4,795,451 | 4,929,260 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 501,249 | 618,116 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △216,658 | △200,185 |
| その他の包括利益累計額合計 | 284,590 | 417,930 |
| 少数株主持分 | 982 | 106 |
| 純資産合計 | 5,081,024 | 5,347,296 |
| 負債純資産合計 | 16,820,527 | 17,207,006 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) |
|---|---|---|
| 売上高 | 6,957,266 | 6,906,540 |
| 売上原価 | 5,704,550 | 5,675,026 |
| 売上総利益 | 1,252,716 | 1,231,513 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,227,938 | 1,221,281 |
| 営業利益 | 24,777 | 10,232 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息及び配当金 | 14,795 | 15,936 |
| 不動産賃貸料 | 15,352 | 13,681 |
| その他 | 15,453 | 10,075 |
| 営業外収益合計 | 45,600 | 39,694 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 24,338 | 22,326 |
| 貸倒引当金繰入額 | - | 37,900 |
| その他 | 0 | - |
| 営業外費用合計 | 24,338 | 60,227 |
| 経常利益又は経常損失(△) | 46,040 | △10,300 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 0 | - |
| 固定資産売却損 | - | 7,432 |
| 減損損失 | 2,430 | - |
| 特別損失合計 | 2,430 | 7,432 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△) | 43,609 | △17,733 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 80,627 | 52,686 |
| 法人税等調整額 | △54,193 | △40,960 |
| 法人税等合計 | 26,434 | 11,725 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△) | 17,175 | △29,458 |
| 少数株主利益又は少数株主損失(△) | 6 | △876 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | 17,168 | △28,582 |

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

| | (単位：千円) | |
|-------------------------------------|---|---|
| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) |
| 少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△) | 17,175 | △29,458 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 16,138 | 116,866 |
| 退職給付に係る調整額 | - | 16,473 |
| その他の包括利益合計 | 16,138 | 133,339 |
| 四半期包括利益 | 33,313 | 103,880 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 33,306 | 104,756 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 6 | △876 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | 合計 |
|-----------------------|-----------|-----------|-----------|
| | 加工食品事業 | 食肉事業 | |
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,261,785 | 3,695,481 | 6,957,266 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — |
| 計 | 3,261,785 | 3,695,481 | 6,957,266 |
| セグメント利益 | 116,171 | 28,094 | 144,265 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|----------|
| 報告セグメント計 | 144,265 |
| 全社費用(注) | △119,487 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 24,777 |

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 全社・消去 | 合計 |
|------|---------|------|---|-------|-------|
| | 加工食品事業 | 食肉事業 | 計 | | |
| 減損損失 | — | — | — | 2,430 | 2,430 |

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | 合計 |
|-----------------------|-----------|-----------|-----------|
| | 加工食品事業 | 食肉事業 | |
| 売上高 | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,195,553 | 3,710,987 | 6,906,540 |
| セグメント間の内部売上高 又は振替高 | — | — | — |
| 計 | 3,195,553 | 3,710,987 | 6,906,540 |
| セグメント利益 | 104,244 | 41,210 | 145,454 |

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

| 利益 | 金額 |
|-----------------|----------|
| 報告セグメント計 | 145,454 |
| 全社費用(注) | △135,221 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 10,232 |

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、提出会社の管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、事業セグメントの退職給付債務及び勤務費用の計算方法を同様に變更しております。

当該変更による当第1四半期連結累計期間のセグメント利益への影響は軽微であります。